

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床看護技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	18 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時間	後期	教室名	教室・実習室
担当教員	吉村 麻衣子	実務経験と その関連資格	病院で5年間勤務			
《授業科目における学習内容》						
健康レベルの変化は様々な特徴を示す。基礎看護技術を土台として、臨床で求められる症状・治療・検査に関連した臨床看護技術を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
課題、試験、授業態度を含む						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 MCメディカ(デジタル版)						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読み、分からないこと難しい言葉を調べておくこと 授業にに沿って技術ノートを作成していくこと						
《履修に当たっての留意点》						
基礎看護技術を土台として、疾病の治療や検査に関わる臨床で求められる技術を学びます						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸困難の観察ができる	教科書 資料	教科書P316～338までを読み、呼吸のメカニズムを復習してまとめておく。	
		各コマにおける授業予定	呼吸のメカニズム 呼吸パターンの種類と特徴 ガス交換について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸を楽にする援助の方法と留意点が説明できる	教科書 資料	課題プリントを行い、吸入療法と酸素療法についてまとめておく。	
		各コマにおける授業予定	効果的な呼吸方法、体位ドレナージ 酸素吸入療法の基礎知識と援助			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	酸素療法の目的と方法を理解し、援助の実際を説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	酸素吸入療法(簡易マスク、鼻カニューレ、リザーバーマスク) 痰を喀出させる方法			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	体温管理・循環を整える援助について方法と留意点について説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	体温に異常をきたした人への援助(巻法、低体温療法) 末梢循環促進ケアの目的と方法(弾性ストッキング、マッサージ)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	体温管理・循環を整える援助について方法を実施できる。	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	体温を調整する援助(温巻法・冷巻法)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷とその治癒メカニズムを知り、治癒のための環境について説明できる。包帯法について説明できる。	教科書 資料	
		各コマにおける授業予定	創傷治癒のための環境づくり 創洗浄、創の保護の方法(包帯、三角巾の知識)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	瘡発生の際のアセスメントの方法を理解し、褥瘡予防と治癒促進のケアについて説明できる。褥瘡ケアの実際について説明できる	教科書 資料	
		各コマにおける授業予定	褥瘡予防ケア(臥位でのケア、座位でのケア)褥瘡発生の際のアセスメント 褥瘡予防のケア 褥瘡のアセスメントと治癒促進ケア 創傷治癒過程とメカニズム		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	包帯法の目的と留意点を理解し、実施することができる	教科書 資料	
		各コマにおける授業予定	包帯、三角巾、シーネ固定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返りができる	教科書 資料	
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			